

# 北海道浮魚ニュース

令和元(2019)年度 22号

2019年10月25日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎サンマ南下期調査結果

### 親潮第一分枝側でサンマを漁獲

サンマ南下期調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

調査期間：2019年10月16日～10月22日

調査海域と調査点（表1，図1）：道東および三陸沖太平洋の9調査点

調査方法：表層トロール網による漁獲試験（原則1曳網あたり1時間）

夜間航行中の探照灯による目視調査および釣獲による標本採集

CTDによる海洋観測

調査船：北辰丸（釧路水産試験場）

### 1. 表面水温（表1）

サンマが南下すると予想される親潮第一分枝（St.1, St.2, St.8, St.11, St.12, St.13）および第二分枝の冷水域（St.5），さらに比較のため道東沖に北上していた暖水域（St.3, St.10）に調査点を設定しました。調査点の表面水温は11.1～19.1℃の範囲にありました。

### 2. 表層トロール漁獲尾数（表1，図1）および目視調査（表2，図1）

表層トロール網による漁獲試験の結果，サンマの総漁獲尾数は66尾（前年2尾）でした。サンマの漁獲があった調査点は，St.1（40尾），St.2（15尾），St.13（11尾）で，親潮第一分枝の冷水域に位置していました。探照灯による目視調査時に魚群を発見し，釣獲で標本採集を行った点を調査点aとし，表2と図1に示しました。

調査全体で最も多く漁獲されたのはマイワシでした。襟裳岬南沖の暖水域ではカタクチイワシが漁獲されました。

### 3. 体長組成（図2，図3）

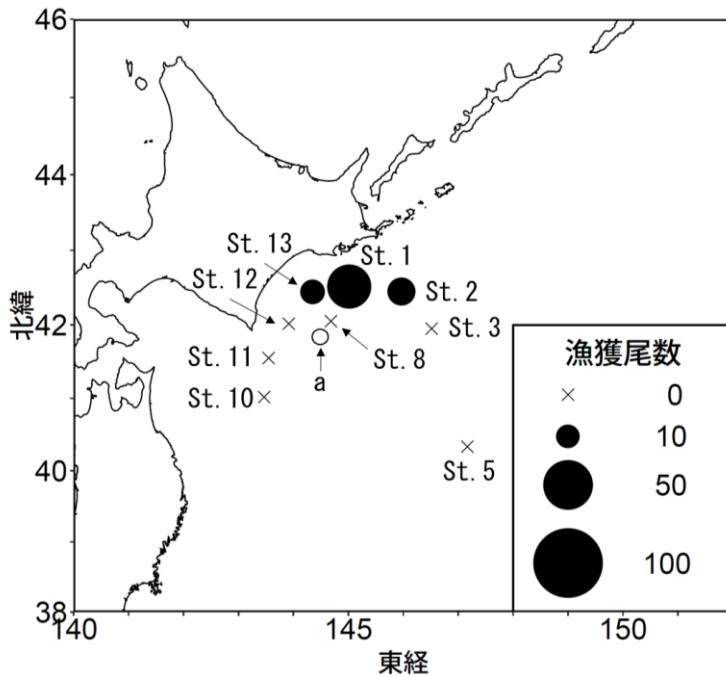
表層トロール網で漁獲されたサンマの体長は，21～32cm台でした（図2）。釣獲により採集したサンマの体長は，16～32cm台で，0歳魚と推測される個体（体長29cm未満）の割合が高くなっていました（図3）。

表1 2019年サンマ南下期調査の表層トロール網による漁獲試験結果

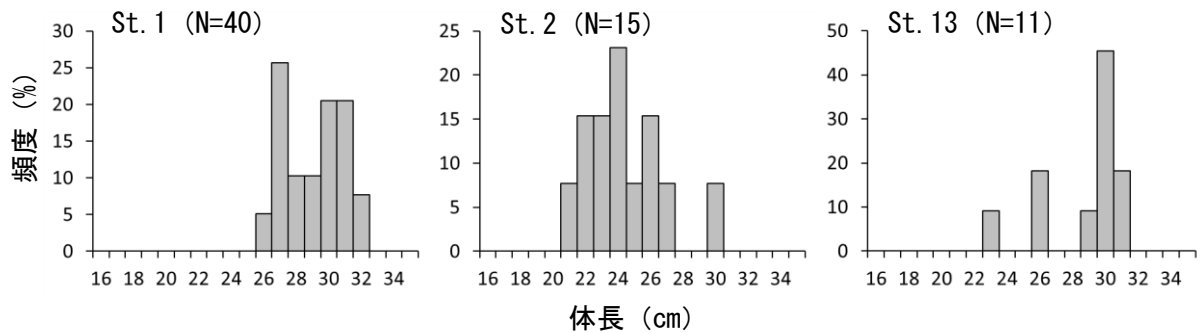
調査点	調査年月日	位置		水温（℃）				漁獲尾数			
		北緯	東経	0m	50m	100m	200m	サンマ	マイワシ	カタクチイワシ	サバ類
1	2019/10/16	42-31	145-01	12.3	4.7	2.7	2.3	40	64	0	3
2	2019/10/17	42-27	145-58	12.7	3.6	2.7	3.3	15	0	0	0
3	2019/10/17	41-57	146-31	18.4	14.3	10.9	6.3	0	0	0	0
5	2019/10/18	40-20	147-10	15.9	13.4	11.6	7.2	0	7	0	0
8	2019/10/22	42-03	144-41	12.4	7.5	6.0	3.1	0	1,773	0	5
10	2019/10/21	41-01	143-28	19.1	18.5	13.5	9.5	0	0	60	0
11	2019/10/21	41-33	143-33	13.2	12.7	8.4	2.4	0	0	0	0
12	2019/10/19	42-01	143-55	14.2	10.4	6.4	4.8	0	4,382	0	0
13	2019/10/22	42-27	144-21	11.1	9.3	4.6	2.5	11	1,936	0	22
合計								66	8,162	60	30

**表2 2019年サンマ南下期調査の釣獲による標本採集結果**

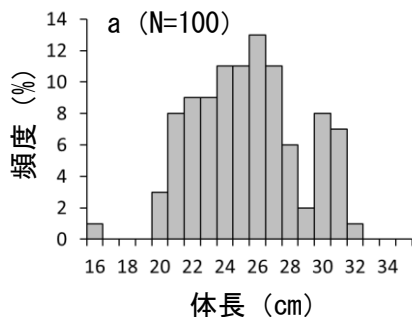
調査点	調査年月日	位置		水温 (°C)				採集尾数 サンマ
		北緯	東経	0m	50m	100m	200m	
a	2019/10/21	41-49	144-31	13.2	11.2	8.1	4.4	100



**図1 2019年サンマ南下期調査の調査点とサンマ漁獲尾数**  
 ×, ● : 表層トロールによる調査点と漁獲尾数  
 ○ : 釣獲による標本採集位置



**図2 2019年サンマ南下期調査における体長組成 (表層トロール, Nは漁獲尾数)**



**図3 2019年サンマ南下期調査における体長組成 (釣獲, Nは採集尾数)**

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)